

## 平成28年度 第1回 長浜市子ども・子育て会議 要点録

日時 平成28年7月7日(木) 午前9時30分～午前11時30分  
場所 長浜市役所西館5階 5-B会議室  
出席者 西川委員、井関委員、織田委員、妹尾委員、服部委員、横山委員、野田委員、  
長委員、前田委員、吉井委員、山仲委員、池田委員、熊谷委員(13人)  
【事務局】健康福祉部長：市川、幼児課：横田、富永、三家、  
子育て支援課：若林、益田、前嶋、涌井  
欠席者 大橋委員、宮崎委員(2人)

《開会》

事務局

それでは定刻になりましたので、ただ今から「平成28年度第1回長浜市子ども・子育て会議」を開催します。

本日の傍聴者はおられませんが、「附属機関等の会議の公開等に関する要綱」に基づき、本会議は公開となっていますのでご了承願います。

それでは、初めに団体からの推薦で委員の交代がありましたので、健康福祉部長より委嘱状の交付をさせていただきます。

お名前をお呼びしますので、前にお進みください。

《委嘱状の交付》

織田委員、妹尾委員、服部委員、横山委員に委嘱状の交付

事務局

続きまして、健康福祉部長よりあいさつ申し上げます。

《部長あいさつ》

事務局

では、次に委員紹介ですが、委員の交代もありましたので、お一人ずつ簡単に自己紹介をお願いします。

《自己紹介》

事務局

続いて、事務局も自己紹介させていただきます。

《事務局自己紹介》

事務局

本日の資料の確認をさせていただきます。事前に配布させていただいております資料の他に、本日追加で資料をお配りしていますので、ご確認ください。

- ・資料5-1 教育・保育の量の見込み
- ・資料7 幼児課、子育て支援課

配布物としまして、クリアファイルの中に

- ・ながまるキッズ!のチラシ
- ・子育て応援ナビの冊子

・子育てバリアフリー認定施設標示板設置店舗のチラシ  
お手元がない場合はお知らせください。

また、本日、大橋委員、宮崎委員のお二人はご欠席の連絡をいただいておりますが本会議は「子ども・子育て会議規則第4条第3項」に規定する過半数の出席がありますので、成立することをここに報告いたします。

では、議事に入りたいと思います。「子ども・子育て会議規則第4条第2項」により「会長は会議の議長となる」とありますので、ここからの進行は西川会長にお願いいたします。

西川会長

皆さんこんにちは。

この「子ども・子育て支援事業計画」を策定する時からかかわらせていただいております、引き続き会長ということで至らないことばかりではありますが皆様のご協力のもとやっていきたいと思っております。

では、(1)長浜市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について事務局から説明をお願いします。

事務局

初めての委員さんもおられますので、長浜市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理についてご説明させていただく前に、簡単に「長浜市子ども・子育て会議」の概要から説明させていただきます。

資料1と2と3をご覧ください。

《「長浜市子ども・子育て会議」の概要を説明》

次に「長浜市子ども・子育て支援事業計画」の概要について説明させていただきます。

《概要版にそって説明》

次に計画の進捗管理について説明させていただきます。

《資料5-1、5により説明》

西川会長

ありがとうございます。

この会議の設置目的は事業計画を策定するというのが27年度中で、次にこの計画が正しく遂行されているかみていくことになっております。今ニーズ量と実績値について説明があったのですが、このあたりで委員のみなさんからご意見がありましたらお願いします。

池田委員

認可外保育所をやっていますが、5-1の資料の数字に入っているのでしょうか。認可保育所だけの数字ではないでしょうか。同じように民間の放課後児童クラブもやっていますが、これは数字に入っていると思われまして。同じことをやっている事業所としましては、やりがいもでてくるので、ご検討いただ

ると有難いです。

西川会長

まず2つのことがあったと思います。

1つはこの中に認可外保育所は入っていないのかどうかの確認と2つめはここに入れることはできないのかということですが、事務局お願いします。

事務局

確かに認可外保育所に関しましてはここに数字はあがっておりません。

この計画の目標値には、認可保育所の数字があがっておりますので、それに対応した実績となっております。しかし、いろんな場面での地域の中での役割での認可外保育所への期待ということも考えたいと思いますので、取り込みという形での掲載となるのかと思われまます。数字であげるかということは、事業計画の性質上どうなのかを検討して決めたいと思います。

西川会長

この事業計画の中で性格上数字は入れにくいということですが。

吉井委員

ニーズの見込みと実績の差がありますが、先ほどの池田委員のように認可外保育所がある程度カバーしてくれているということですね。ということは、認可外の数字もあげてこないと実態としては把握できないということですね。

池田委員

待機児童の数字の報告はしているので事務局は把握しておられると思いますので全体は把握されていると思います。総数がわかるような形式が実態が見やすいということです。

西川会長

統一感の問題ですので、検討いただくとありがたいですね。

この計画の性格上資料としては数字は表せないけど、長浜独自の実績のわかるものがあるといいという意見ですが、そのようなものはあるのでしょうか。

事務局

いろいろななかかわりの中でキッズパークさんの数字は把握しておりますが、その数字をどこまで広げるのかは検討していきたいと思ひます。

西川会長

先ほどの事務局の説明にもありましたが、0歳の3号はかなり見込みと違っています。市としても相当努力されていることはわかりますが、28年度以降

危機的な状況となってきますが、市としての具体的な方策はもっておられますか。

事務局

H27年度当初の入所申し込み、年度途中の申し込みも含めまして、0、1、2歳は特にボリュームが増えていくと思われまます。一定の施設要件、職員配置、既存建物である程度のレベルには至っているところですが、今後利用者も増えていくので、もう少しボリュームアップもほしいところです。

来春に梅香保育園の乳児園開設、こども園の創設などがありますので、ある程度の対応はできる見込みですが、さらに施設整備支援にも力を入れていきたいと思っています。

池田委員

ニーズを把握するうえで、待機児童の言葉の定義といたしますか、ガイドラインというものはあるのでしょうか。お母さんが働きに出ただけで大幅にニーズ量は変わってくるのに先を見通したニーズ量の把握は正確にできるのでしょうか。

会長

ニーズ調査は国基準のものを基にして市町レベルでやっていくということですがそのあたりどうですか。

事務局

H25年度のニーズ調査の段階と保育所の入所時点でのニーズとのギャップもあるのだと思います。平成27年度に計画が策定され、今年度このような形で数字が見えてきたということもありますし、世間が就学前教育など注目されてきて、変動がかなりあると思われるので、私たちも掴みどころが難しいというのが正直なところです。

しかし、実際数字として表れてきているので、これに対応していく必要があると思います。

次に保育所の待機児童の定義についてですが、国の方からこのような目線で統計しなさいというものがあります。カウントの仕方は自治体ごとや地域性もありますので、当市としましても空いている保育所はありますが、保護者の希望しないところに無理やり入ってもらうことはそぐわないので、一定数の待機児童が発生しているのが現実です。生活の実態、ニーズの変動を上手にとらえる必要があると意識しているところです。

会長

ニーズ調査の結果はこうですが、H27の実績の数字をみますと、3号認定のところは大きく乖離してきています。5年間はこの計画でいくということで、ニーズ量は確保しましたでは済まないわけで、ぜひこの会議で、こうして

いくべきだというご意見を出していただく必要があります。

今、確保の方策として3つ挙げられたわけですが、梅香保育園さんが乳児園を開かれるということ、こども園が創設されるということ、整備支援をしていくということ、これは既存の建物を整備して広げていくというイメージですか。

事務局

それもありますが、人材の確保も整備支援に入ると思っております。

会長

努力はされているという事務局の回答ですがいかがですか。

池田委員

待機児童のカウントですが、特定の時間帯や特定の曜日だけ希望されているようなことは待機児童に入るのですか。

会長

標準時間と短時間でカウントですので、特定の時間帯等はいりませんね。  
待機児童の数字だけではなく、こういった待機児童にカウントされない人もいることなどから、こういった意見があるのか知りたいところです。  
ちょうど、皆さんは保護者会や子育て経験者などそれぞれのお立場から委員として出てきていただいておりますので、そのあたりのご意見をいただくと有難いですね。

服部委員

保育園の保護者も園に対する思いは多様性にとんでいると思います。近くがいいという人もいれば、内容で公立がいい方や、私立の方がいい方とそれぞれの思いがありますので、こういったところを反映させられるといいです。

横山委員

自分の子どもは幼稚園に入れて困ったことなどはなかったのですが、保育園に0歳児から預けておられるお母さんは、仕事が理由なのでしょうか。

事務局

はい。介護などもありますが、ほとんどが就労が理由です。

山仲委員

3号のニーズ見込みですが、少子化で子どもの数は減っていくが、母親の就労は増えていくと思われませんが、この就労志向はニーズ調査に入っているのでしょうか。

事務局

H25の調査から社会参加、就労意識などめまぐるしく変化してきているので、数字の是正も必要かと思われます。

吉井委員

長浜市の人口は減ってくるが世帯数は増えて核家族化が進んでいるので3号認定のニーズが増えているのかなと思います。

妹尾委員

保育園事情を申しあげますと、最近では保育園に入りたいので就労するという声をよく聞きます。0歳児の申し込みは、ほぼ在園時のお母さんのお腹の中の子でいっぱいという状況です。

池田委員

0, 1, 2歳児の受け皿がうちになっているということです。3歳からは認可園に行きますので。

会長

全国的な最近の傾向として、2歳児の待機が多いから0才から入れないと、という意識が働いているようですね。こういった数字では見えてこない満足度といいますか意識が見えてくると良いですね。ここが今日の肝になると思いますので、いろいろとご意見をいただきたいです。

吉井委員

数字の算出根拠が入っているとわかりやすいと思います。

長委員

放課後児童クラブでお聞きしたいのですが、今後も放課後移動クラブの人数が増えるが一人当たりの面積確保どうするか、ということと資料5では支援員と指導員と書かれてあるがその違いを説明していただきたいと思います。

事務局

放課後の特別の部屋プラス余裕教室で一人当たり1・65㎡を確保しています。まだまだ人数は増えると思われるので、民間に委託し、拡大していく方向です。また、小規模放課後児童クラブと居場所づくりといった補助金事業も使っていていただきながら、いろんな形を提供しています。

支援員と今年から名前が変わったのは、子どもたちの自発的な姿を後ろから支援するという意味から変えたものです。

野田委員

放課後児童クラブの人数ですが、5-1の資料と事前にもらった資料と数字

が違うのはどうしてでしょうか。

事務局

1585人は前年の申し込み時点での人数です。その後数字は変化していませんので数字が違ってきます。

織田委員

10年ほど前にいた神照小学校では放課後児童クラブの人数もたくさんでした。今は余呉小学校にありますが、今年から地域づくり協議会の皆さんが放課後児童クラブ「キッズステーション」を運営してくださっています。夏季休業中は子どもの数も増えますが、支援員の確保が難しい状況です。

井関委員

0歳児のH27年度の実績が大変な数字になっていますが、保育士の確保をされ、研修はどうされているのかお聞きしたいのと、子育ての情報発信が一方通行になっているのではないかと感じています。この2点についてお尋ねします。

事務局

保育所については、毎年秋に翌年度の入所申し込みの受付をします、その時点での人数をみて、保育士を4月から配置させていただいております。もちろん研修体制の充実も図っておりますし、待遇面でも他市と格差がないようにすることはもちろんのこと、給料のベースアップについても検討しているところです。保育士不足が全国的に言われていますが、本市でも、大学に行ってお願ひしたり、就職フェアにも参加して確保に努めております。

事務局

次に情報発信についてお答えします。

今までの情報発信は行政からの発信ばかりでしたが、長浜市の子育て応援サイトとして、ポータルサイト「ながまるキッズ！」を今年の春から運営しております。ホームページとフェイスブックの機能を持たせた媒体として、行政からのイベント情報だけではなく、民間の情報もキャッチし、皆さんの意見も融合しながら情報発信に努めております。

会長

3号認定と放課後児童クラブですが、かなり数が増えてきているので、提供量を増やしていくのが1点と、同時に認可外保育園を使っておられる実数の調査と、できれば保護者がどういう意識を持っているのか調査して量の確保を丁寧に進めていっていただきたいという質の部分ですね。次回の会議で、どの部分でもいいので出していただけると有難いですね。

では、2. 子育て応援表彰事業について事務局から説明をお願いします。

事務局

《資料6について説明》

会長

5. 報告事項について事務局からお願いします。

事務局

《報告事項として、長浜市子ども子育て・少子化対策推進本部会議について資料7により説明》

会長

質問やご意見等ありましたらお願いします。

無いようですので、続きまして、その他の説明をお願いします。

事務局

《当日配布物のながまるキッズ!のチラシ、子育て応援ナビの冊子、クリアファイル、子育てバリアフリー施設認定標示板について紹介》

本日は、皆さまから貴重なご意見をいただきありがとうございました。  
お帰りになられてもお気づきの点等ありましたらお知らせください。  
次回の第2回目の会議は10月末頃、第3回は翌年2月頃を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。  
本日はありがとうございました。

(閉会)